

地域とともに歩み、支えあえる公民館を目指します。地域のお話を寄せてください。

なでしこ 2

令和5年度 No.11
だより 月号

発行 平塚市立なでしこ公民館

〒254-0825 平塚市撫子原12-54

電話:35-1254 ファクス:37-1061

ホームページ

平塚市立なでしこ公民館

検索

公民館ホームページでは、
カラー版を掲載!



なまえ (ニックネーム)

第30回なでしこ公民館まつり 3月2日(土)、3月3日(日) ~ぬりえ作成~ 平田きよ江さん

きりとせん

公民館・福祉村などの予定カレンダー

日	曜日	スケジュール
2月		
16	金	(福)
17	土	(福)(図)(暮)
18	日	
19	月	
20	火	
21	水	(福)(パ) 囲碁ボールを楽しもう
22	木	(福)(ウ)(ぬ)
23	祝	
24	土	(福)(図)
25	日	
26	月	
27	火	
28	水	(福)(パ) 公民館まつり準備
29	木	公民館まつり準備

日	曜日	スケジュール
3月		
1	金	公民館まつり準備
2	土	公民館まつり!
3	日	公民館まつり!!
4	月	
5	火	定期清掃
6	水	(福)(パ)
7	木	(福)(ウ)
8	金	(福)(手)
9	土	(福)(図)(暮) パパだからできる子育て
10	日	
11	月	
12	火	
13	水	(福)(パ)
14	木	(福)(ウ)(あ)(ぬ)
15	金	(福)うたごえサロン



「公民館まつりぬりえ」を実施します!

ぜひ、ぬりえを楽しんでいただき、公民館にお持ちください。
みなさんの作品を公民館まつりで展示します。
※提出は2月29日(木)まで。年齢等は問いません。

おはなし会のご案内 2月10日(土)14時~

- おはなし「鬼とあんころもち」
- 絵本「おにとあかんぼう」
- 紙芝居「わにがめんどりをたべないわけ」

こども囲碁教室のご案内

2月3日(土)、10日(土)、17日(土)、3月9日(土)、16日(土)
9時30分~11時30分

教室には小学生から中学生まで、幅広い年代の子どもたちが参加しています。

子育てサロン「あ〜んとあんと」のご案内

2月1日(木)、15日(木)、3月14日(木) 10時~11時30分

0、1、2歳児をもつお母さんたちの「出会い」「和」「巣立ち」を応援します。

(福)：福祉村開所日	10時~正午 13時~15時
(パ)：パークゴルフ開催日	10時~正午
(ぬ)：大人のぬり絵	13時~15時
(あ)：子育てサロン「あ〜んとあんと」	10時~11時30分
(ウ)：なでしこ公園ウォーキング	10時~11時
(手)：手作りサロン	13時30分~15時
(お)：おはなし会	14時~14時30分
(図)：図書ボランティア活動日	14時~16時
(暮)：こども囲碁教室	9時30分~11時30分

なでしこ公民館 など のイベント

♪ 第30回なでしこ公民館まつり ♪

3月2日(土) 10時00分～14時00分
3月3日(日) 10時00分～13時30分

第30回なでしこ公民館まつりを開催します!
芸能発表、作品展示発表や模擬店、催し等が行われます。
詳細な内容等は2月中旬以降に配布されるプログラム、またはちいき情報局にてご確認ください!



公民館(シニア学級)・体育振興会 共催

ニュースポーツ 囲碁ボールを楽しもう!

《日時》2月21日(水) 13時30分～15時30分
《対象》なでしこ地区在住の60歳以上の方
30名程度まで
《会場》なでしこ公民館 集会室(ホール)
《持ち物》飲み物、タオル ※動きやすい服装でお越しください。
《講師》平塚市スポーツ推進委員(なでしこ地区体育振興会)
《申込み》2月14日(水) 9時からなでしこ公民館窓口、または
電話(35-1254)にて受け付けます。



公民館(シニア学級)・福祉村・高齢者よろず相談センター富士白苑 共催

脳と身体 血流アップ! うたごえサロン

《日時》3月15日(金) 10時00分～11時30分
《対象》なでしこ地区在住の60歳以上の方
25名程度まで
《会場》なでしこ公民館 集会室(ホール)
《講師》音楽療法士 佐藤喜美子さん
《申込み》2月14日(水) 9時からなでしこ公民館窓口、または
電話(35-1254)にて受付します。※曲のリクエストも受付します。



南ブロック公民館 家庭教育学級

お子さんの見守りあり(要申込み)

パパだからできる子育て～子どもと妻への接し方～



当日は講師が「ママへの魔法の言葉」を伝授します!!



講師の山本加世さん
講師の活動の様子 (mama's hug HP)
申し込みフォーム→
《日時》3月9日(土) 10時30分～12時00分
《対象》南ブロック公民館(崇善・須賀・松原・富士見・花水・なでしこ)地区に住む
0才～6才の子を持つ父親
※本講座は父親対象となっているため、母親の参加はご遠慮ください。
《場所》花水公民館ホール
《講師》山本 加世 さん(NPO法人 mama's hug(ママズハグ)代表)
《定員》20名(応募者多数の場合は抽選)【参加費】無料
《申込み》2月29日(木)までに申込フォームでお申込みください。
(抽選となった場合は3月4日(月)までにご連絡いたします。)
《お子さんの見守り》当日お子様を同伴される方は、申込フォームにてお子様の人数と年齢をご入力下さい。なお、参加者1名につきお子様2名まで同伴可能です。
《問合せ》なでしこ公民館 ☎35-1254

メンバー募集

地域活動に参加してみませんか? クリーンなでしこメンバー募集中! 親子参加OK

毎月、第1日曜日に地域ボランティアのクリーンなでしこが、「なでしこ公園」でクリーン活動をしています。地域のみなさまが憩い、遊ぶ公園を一緒に綺麗にしませんか?親子での参加もOK!地域活動はお子様の学びの場にもなります。一度、ぜひご参加ください!

ちいき情報局なでしこ

地域のイベントや、各種団体の活動状況、回覧板でのお知らせ等、なでしこ地区の身近な情報が確認できます。ぜひ、ご覧ください!
URL: <http://hiratsuka.johokyoyu.net/area/nadeshiko/>



なでしこ地区の歴史風景58花水川堤の桜並木(明治・大正・昭和戦前)

明治39年(1906)、長持・南金目などの金目川両岸堤と曾屋(秦野)道に吉野桜の苗木数百本植えた。神奈川県知事周布公平の勧めで、日露戦役を記念するための植樹であった。大正5年(1916)頃には見事な花を咲かせたようだ。都会(京浜など)からの花見客が来るようになって、平塚停車場から人力車・馬車・幌形乗合自動車が、頻りに往来した(注1)。この桜並木は、観光目的ではなく、主な目的は「堤防強化」「県道を往来する人馬に緑陰を与え」「初期水防に最も効果があった流し(ながし)の用材」であった(注2)。
『横浜貿易新報』(注3)の明治43年4月13日記事「金目川堤防の桜」の見出しで、近郷近在の人出も多く殊に「都人士」も少なくないので、非常に雑沓を極めていた。同堤防には、10数件の露店・掛け茶屋があり、諸種の芸人が入り込んで景気を添えているとある。
大正12年(1923)4月5日記事には、平塚婦人矯風会が「金目桜 芸妓見番撤廃」を伊勢原署に出願した。「善良なる観桜客の風紀上に弊害が多く、一部の遊蕩児の為に一般の人々を無視して居る」とある。同14年3月27日にも同様の記事がある。
昭和11年(1936)4月12日記事「花だより」には、桜のトンネルの下を車の後部と正面を向いた和服の女性の写真が掲載され、「金目川の桜堤 団体客で連日の賑ひ」という見出しが目立つ。同紙面には「花水川に沿って 桜の新名所 平塚商工会乗出す」の見出しで「桜の平塚を実現して、湘南パーク

ウエーの開通並に観光都市・平塚を世に出す計画から、平塚市商工会では花水川堤塘(ていとう)に沿って金目川南原堤の桜から連絡して、湘南観光道路まで十数町に桜の木を移植して、東海道随一の桜の新名所としようとするのである。尚ほこれを機会に本社主催四十五佳選に当選した花水河口にはボートを浮かべ夏は海水浴場の施設をして遊覧客避暑浴客の招致に万全を期そうと言ふので、全市からこの計画に対して大きな期待がかけられている。」とある(太線:中條)。
昭和16年(1941)頃から徐々に桜並木に関する記事が少なくなり、昭和20年(1945)2月27日「金目の桜も木炭に」の見出しで、25日から伐切され始め、「日露戦役記念に植栽以来京浜都人士にお馴染みの吉野桜も大半姿を消し」木炭・薪・粗朶(そだ)になると書かれている。
(注1)『広報ひらつか』(No. 203)昭和43年9月「新平塚風土記」149「金目川堤の今昔」高瀬慎吾
(注2)『広報ひらつか』(No. 408)昭和60年7月「ひらつかの昔がたり」72「金目川堤の桜」文責白井弘
(注3)『神奈川新聞社WEBマイクロフィルム』以下「記事」は『横浜貿易新報』 但、昭和20年(1945)の記事は『神奈川新聞』
*「湘南パークウエー」「湘南観光道路」については「なでしこ地区の歴史風景34 湘南遊歩道路」を参照。
中條利昭(なでしこ地区在住)



下花水橋下流左岸

講座のお申込みでいただいた個人情報は、その事業に係る事務、連絡のみに使用します。また、講座の様子を記録した写真等は、講座の開催の記録として、公民館だよりやホームページ、その他メディアに掲載されることがありますのでご了承ください。